

令和5年度(2023年度)
第1回河川工作物AP会議

道道 知床公園羅臼線
朔北橋の橋梁補修について
(オツカバケ川)

令和5年(2023年)7月18日



北海道 釧路総合振興局 釧路建設管理部

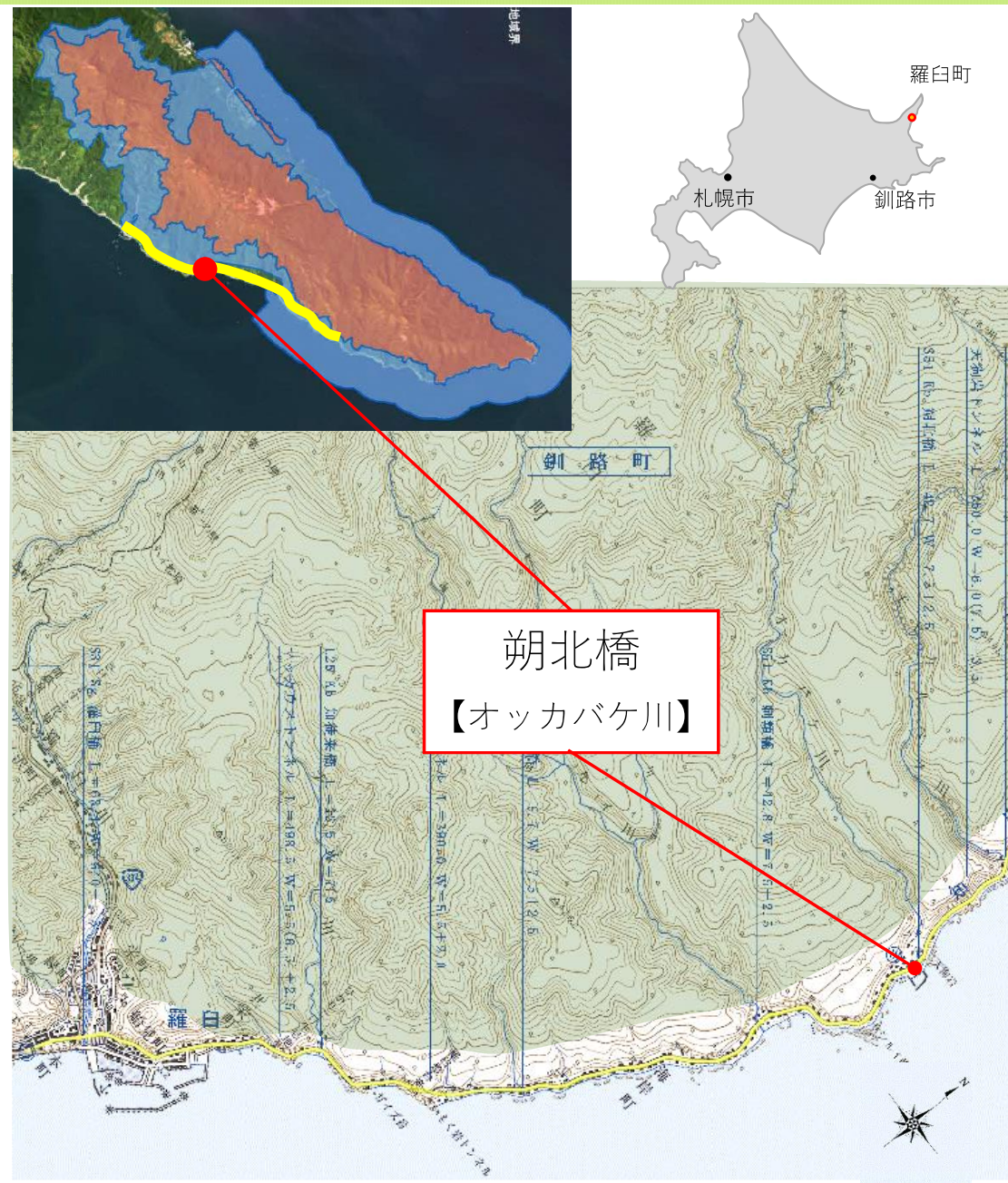
朔北橋の概要

▼朔北橋

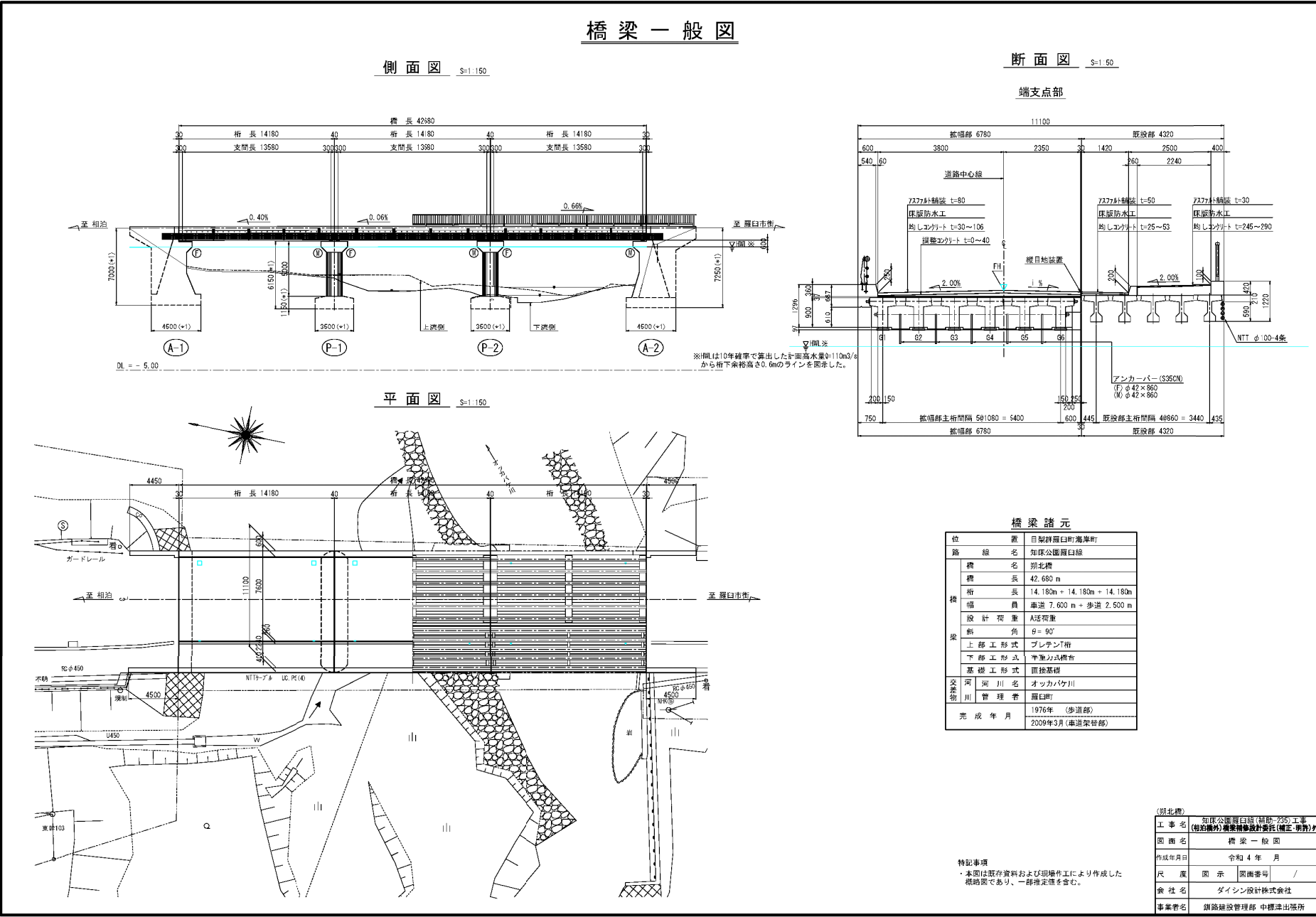
- 1) 橋梁名：朔北橋（さくほくはし）
- 2) 路線名：道道 知床公園羅臼線
- 3) 河川名：オッカバツケ川
- 4) 架設年：2009年（平成21年）
（車道部の上部工を架替え）
- 5) 橋 長：L=42.7m（3径間）
- 6) 上部工形式：ポステンT単純桁
- 7) 下部工形式：橋台：半重力式橋台
橋脚：壁式橋脚

橋梁点検（2020年実施）において、
補修が必要と判定

橋梁補修工事の実施



朔北橋の概要



橋梁の現状

▼ 損傷の状況

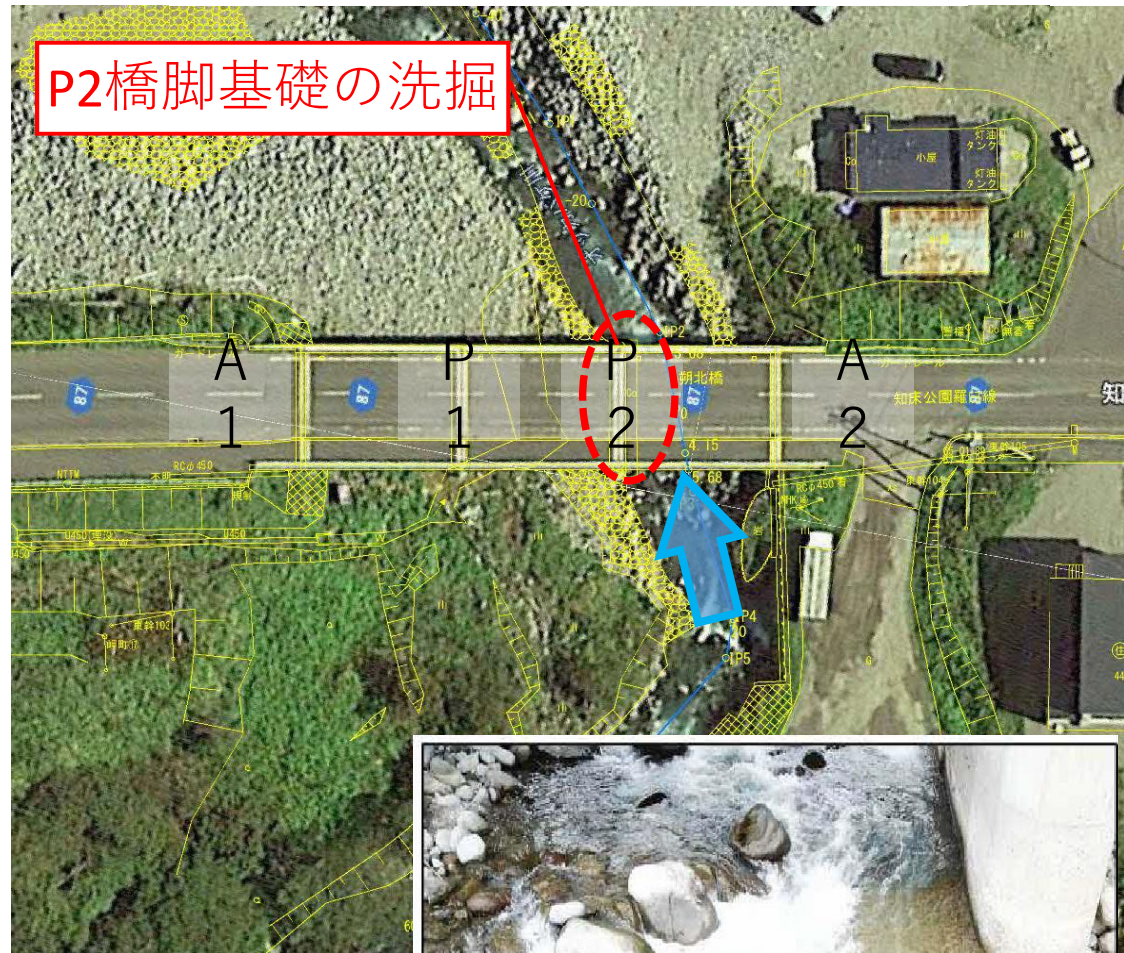
○ 橋脚基礎の洗掘

- ・ 河床の低下、洗掘によりP2橋脚（直接基礎）のフーチング上面が露出している
- ・ 特に下流側において基礎天端から56cm程度、深掘れしている

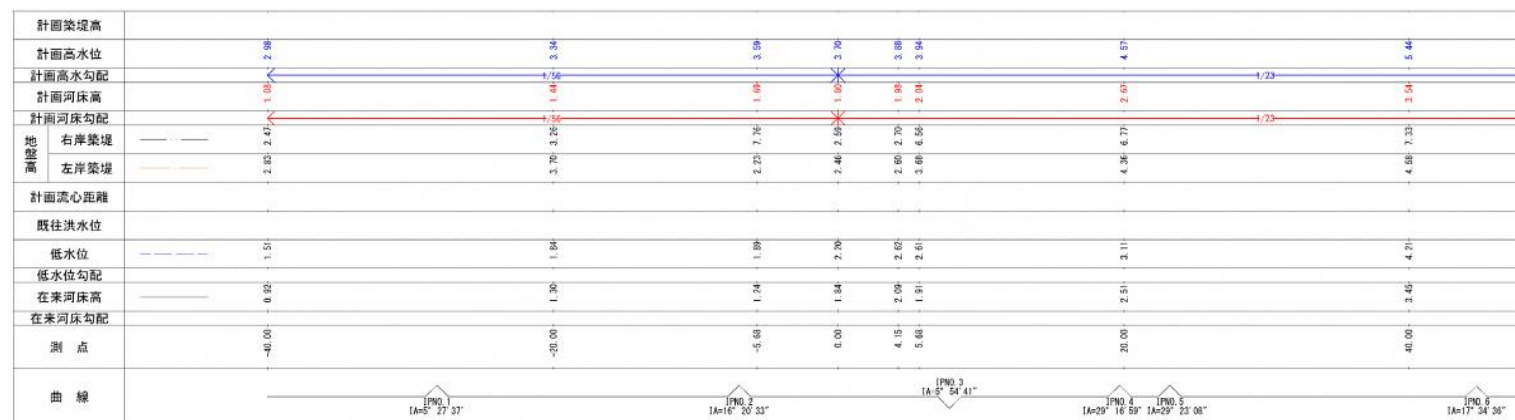
※上記の他、防護柵の損傷もあり

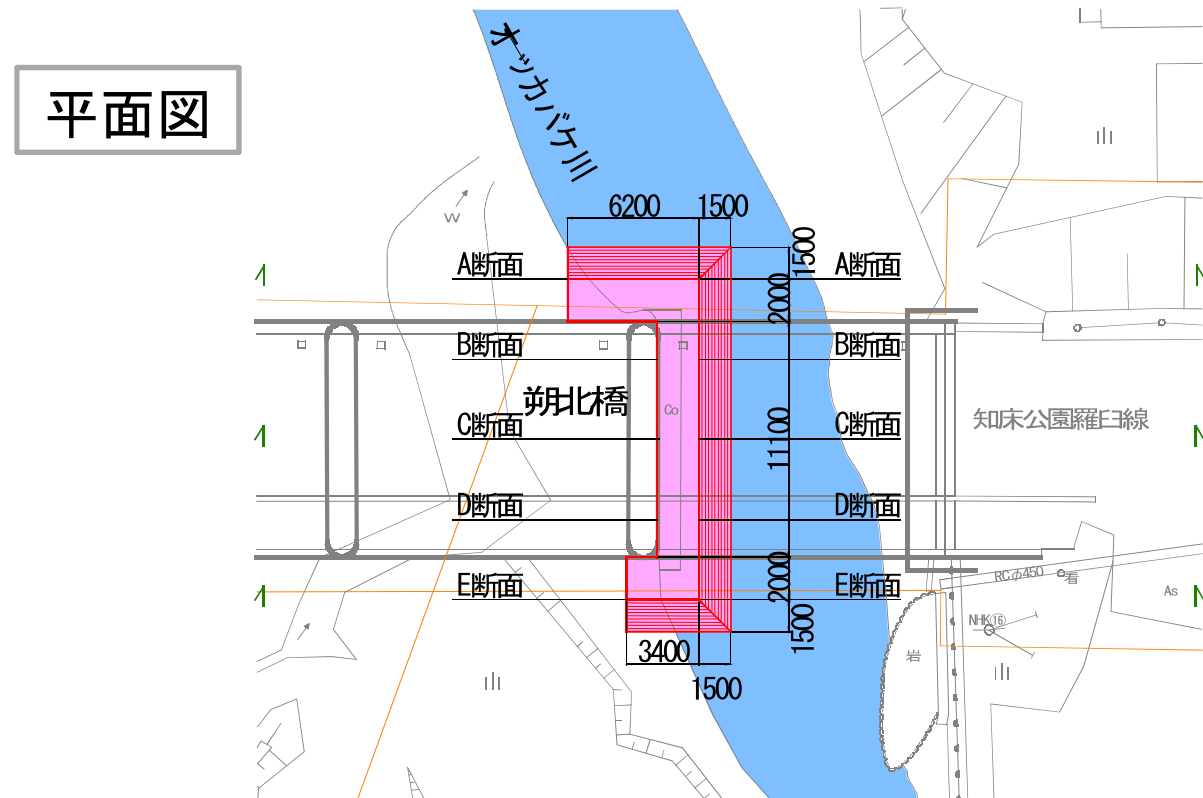
▼ 健全性の判定 ⇒ 診断区分【Ⅲ】

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に 措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態



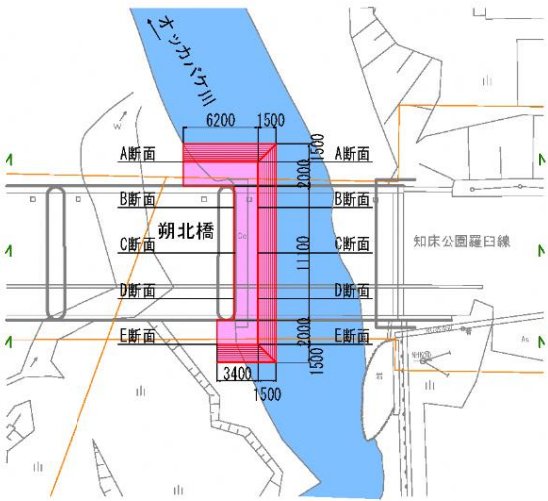
The figure consists of three photographs illustrating different types of scour around bridge piers. The top photograph shows a pier with a large arrow pointing to the upstream side, indicating the location of the pier. The middle photograph shows a pier with a large arrow pointing to the downstream side, indicating the location of the pier. The bottom photograph shows a pier with a large arrow pointing to the downstream side, indicating the location of the pier.



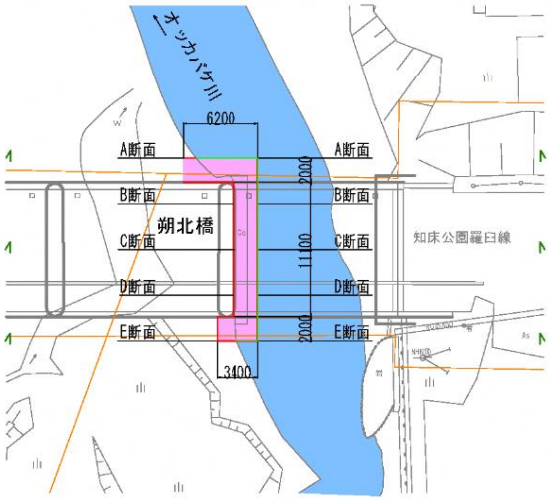


洗掘対策（案）

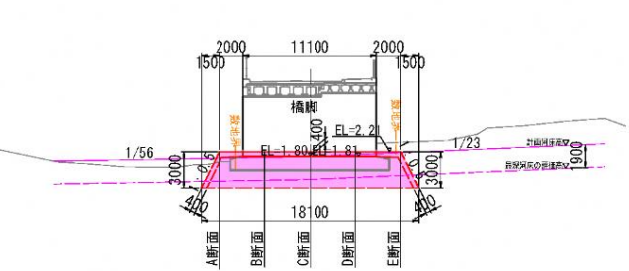
投影平面図
※着色部は計画する構造体を示す。



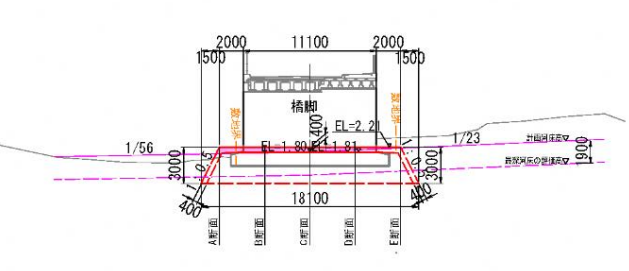
平面図
※着色部は計画河床高より上で露出する箇所を示す。



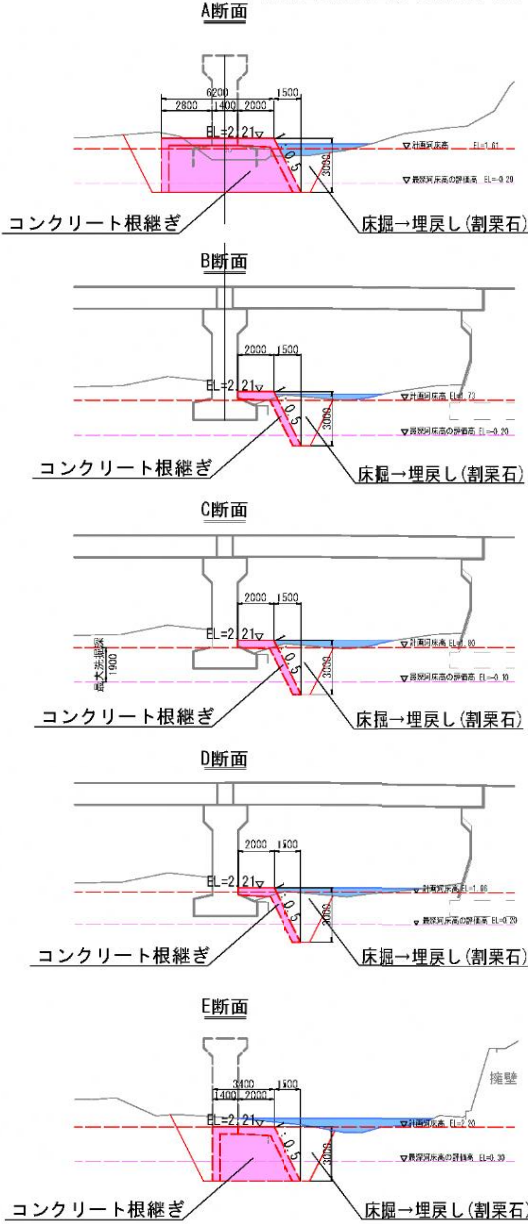
側面図



側面図



断面図
※着色部は計画する構造体を示す。



洗掘対策（案）

▼コンクリート根継ぎ工 整備イメージ

水面上に露出している部分

上流側から下流側を望む



下流側から上流側を望む



洗掘対策（案）

▼コンクリート根継ぎ工 整備イメージ



